

マラソン大会を終えて

校長 村上俊一

「初めて、自分で自分をほめたいと思います。」これは、バルセロナオリンピック銀メダル、アトランタオリンピック銅メダルと二大会連続メダルに輝いた、岡山出身のマラソンランナー有森裕子さんの言葉です。

銅メダルを得たレース後の会見で「終わってからは、なんでもっとがんばれなかったのかと思うレースはしたくなかった」という言葉に続いて涙ながらに言われた言葉です。

勉強でもスポーツでも仕事でも、途中で苦しくなることが必ずあります。終わった後で「あのときもっとがんばっておけば・・・」「という後悔ではなく、「自分は精一杯がんばった」と自信を持って言える生き方を、一瞬一瞬積み重ねていきたいものです。

マラソン大会の朝、子どもたちに語ったお話です。